



P R E S S R E L E A S E

2017年3月7日

三菱ふそう、ウガンダでのインフラプロジェクト向けに建設車両を大口納入

- 三菱ふそうは、ウガンダ政府によるインフラプロジェクト向けに、日本のビジネス・パートナーに502台の車両を納入
- 地域のニーズに沿った車両を提供することで、ウガンダの発展に寄与
- 同車両を含む輸出売買契約は2015年、住友商事株式会社とウガンダ土木事業・運輸省との間で締結
- 車両は、極東開発工業株式会社などの架装メーカーによる架装後、納入予定
- 車両の点検・整備は、FUSOの認定卸売販売会社であるSpear Motors Ltd.が担当
- 三菱ふそうは急成長する新興国の発展に貢献するため、こうしたビジネスの活動を拡大

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:マーク・リストセーヤ、以下 MFTBC)は、ウガンダの土木事業・運輸省のインフラプロジェクト向けに、日本のビジネス・パートナーに FUSO 車両を 502 台納入します。

ウガンダは GDP 成長率 5%と、アフリカで最も急成長を遂げている国のひとつです。農業国である同国では、インフラ計画が相次ぎ策定されています。特に道路網についてはすでに約 13 万キロまで拡張されています。ウガンダ政府は今回、農作物の効率的な輸送を目的として、全国 112 地区の道路網を整備・伸張します。同国では、GDP に占める農産物産業の割合は約 30%となっており、道路整備が発展の要となります。三菱ふそうは同プロジェクト向けに、地域のインフラ建設のニーズを満たす車両を提供します。

FUSO 車両を含む輸出売買契約は住友商事株式会社とウガンダの土木事業・運輸省との間で 2015 年 9 月に締結されました。FUSO は極東開発工業株式会社などの架装メーカーに車体を提供し、架装メーカーが小型トラック「キャンター」(移動作業車用)、中型トラック「ファイター」(ダンプ、アスファルト配給車、散水車およびクレーン付貨物車)、大型トラック「スーパーグレート」(ローダーおよびトレーラー)の架装を施します。

建設車両の点検・整備は、FUSO の認定卸売販売会社である Spear Motors Ltd.が担当します。同社は 2013 年以降、FUSO 車両の販売およびサービスを行っています。

三菱ふそうは急成長する新興国の発展に貢献するため、インフラプロジェクト向けに車両を大口納入するなどの活動を今後、拡大していきます。



中型トラック「ファイター」のダンプ

写真提供: 極東開発工業株式会社